



ビルトインタイプ

MP400SB
MP750SB
Model-D400BJ
Model-750BJ
250SSCT-B

取付要領書

カプラプラグ使用する

お客さま相談室 ☎ 0120-80-1711 ✉ info@multi-pure.co.jp



マルチピュアジャパン株式会社
東京都杉並区上荻2-21-25 アズマビル3階 〒167-0043

URL <http://www.multi-pure.co.jp>

◆ もくじ ◆

1. 梱包部品	3
2. 総取付図	4
3. 器具の設置手順	5
4. 最終点検(水漏れのチェック)	10

使いはじめのご注意

- 流量のチェックをしてください。チェックは(コップ200mlが約4秒で満水になるように)アングル分岐栓のバルブで調整してください。
※地域やお住まいの場所によっては4秒に満たない場合があります。
- 初めの通水時に黒っぽい水が出てきます。15分以上通水し十分流しきってからお使いください。
- 2~3日間使用しなかった場合は、15分以上通水してからお使いください。
- この「取付要領書」は工事完了後、お客さまへお渡しいただき、「取扱説明書」とともに大切に保管していただくように説明してください。

安全上のご注意

工事をされる方へお願い

- 本浄水器を正しく安全にご使用していただく為に、この「取付要領書」を必ずお読みになり工事を行ってください。記載事項を守らないで、万一事故が発生した場合は責任を負いかねますので、工事開始時には必ずお読みください。

⚠ 注意

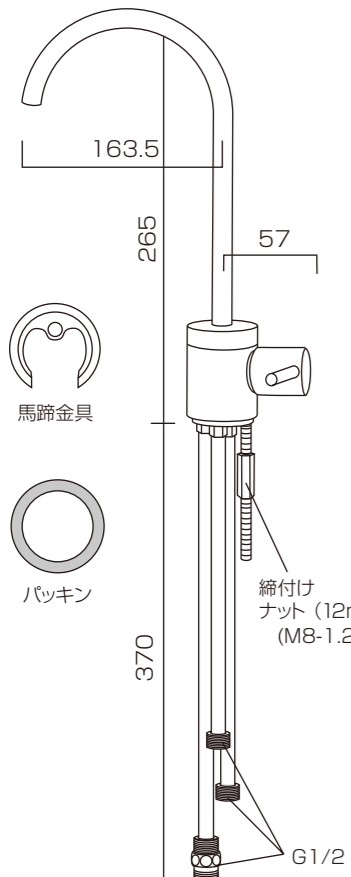
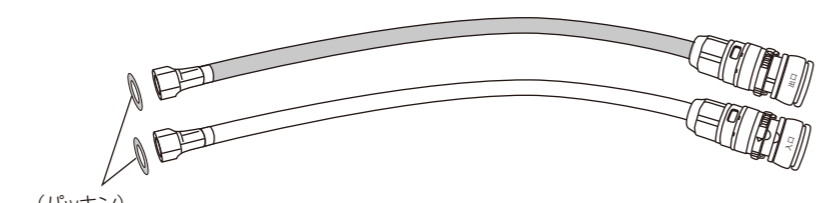
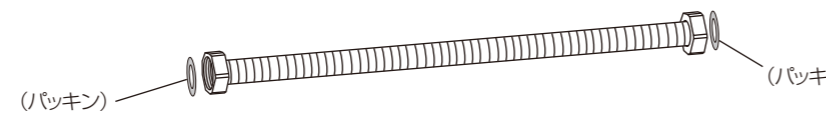
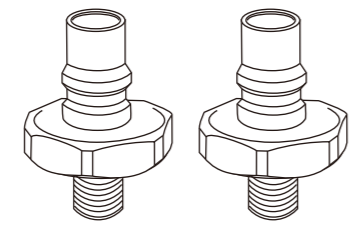
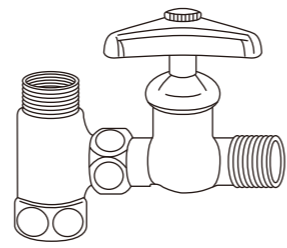
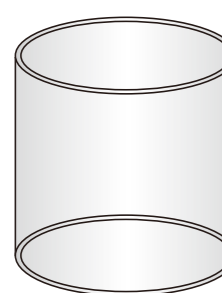
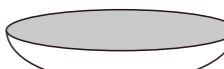
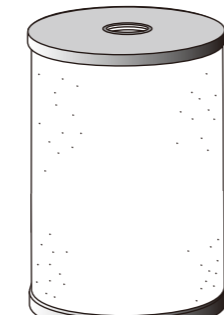
ここに示した注意事項は、状況により重大な事故などに結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ⓘ 実行 配管工事は全て水道法、建築基準法、各都市の条例に準じて行ってください。
- 🚫 禁止 一般上水道に適合しない水や、殺菌・滅菌が必要とされる水を、その処理をしないで通水し、使用することは避けてください。
- 🚫 禁止 凍結の恐れのある場所には設置しないでください。
- 🚫 禁止 高温になった器具や火気の近くに設置をしないでください。
- 🚫 禁止 38℃以上の温水を通水させないでください。(機能が低下するおそれがあります)
- ⓘ 実行 使用可能水圧の範囲で設置してください。
- ⓘ 実行 ブレードフレキ管およびホームチューブの取り回しは、なるべくゆるやかにつぶれないように曲げて接続して下さい。(流量の低下、破損、亀裂の原因となることがあります)
- 🚫 禁止 ホーロー、天然大理石の天板は取付ができません。無理に穴を開けようとすると破損する恐れがありますので、シンクメーカーにご相談ください。

- ⓘ 実行 15分以上通水し、必ず水漏れがないことを確認してください。
- ⓘ 実行 レバーの開閉をくり返し行い、各部の水漏れがないことを確認してください。

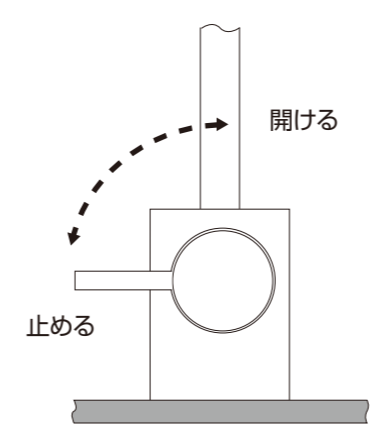
1. 梱包部品

■浄水器本体以外に、下記内容部品がそろっているかご確認ください。

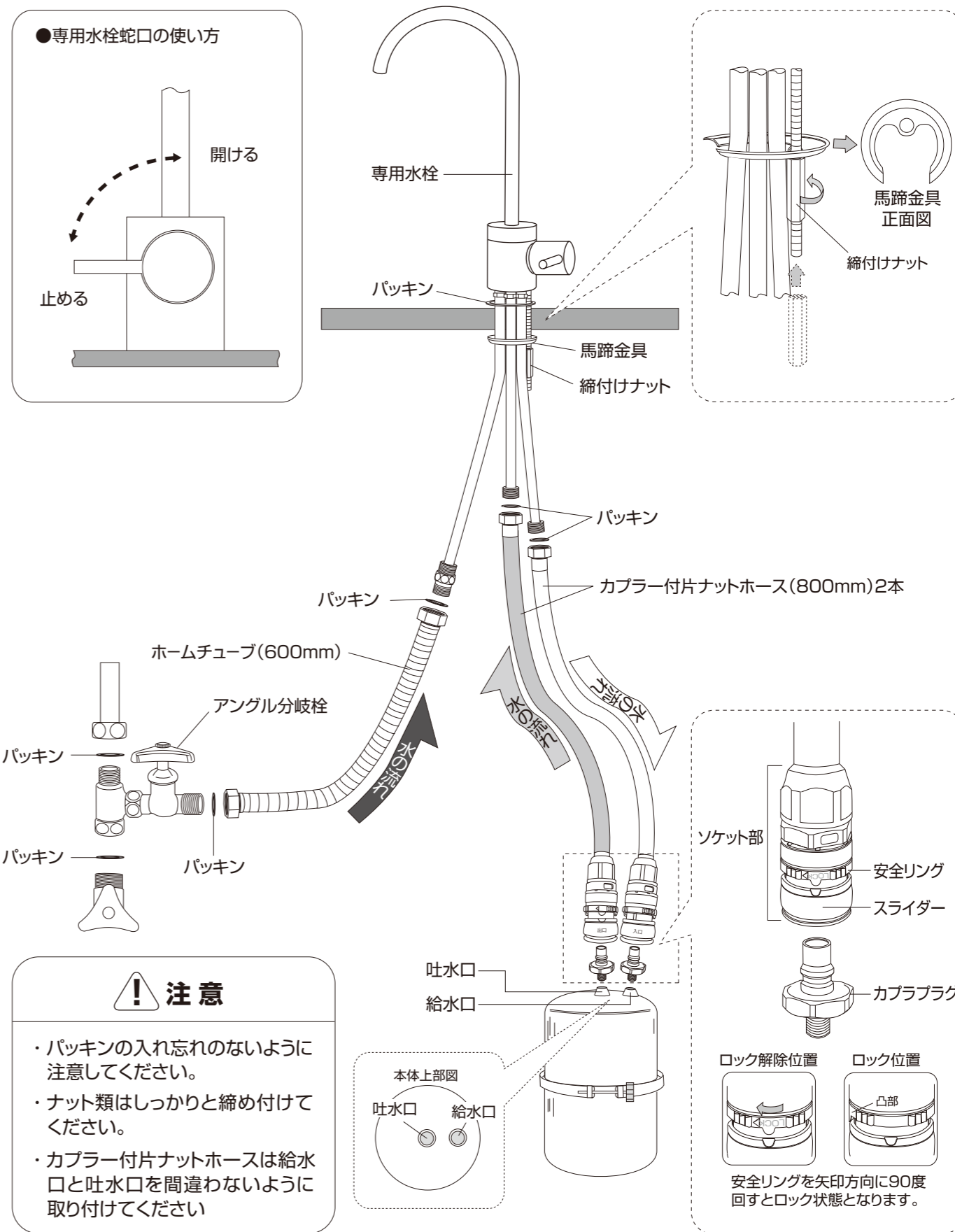
<p>●専用水栓</p> 	<p>●カブラ付片ナットホース(800mm)2本</p> 	
<p>●ホームチューブ(600mm)</p> 	<p>●カブラプラグ2個</p>  <p>●アングル分岐栓</p> 	
<p>●アクリル台座</p> 	<p>●活性化セラミック (BJの場合)</p> 	<p>●フィルターカートリッジ (MP400SBは本体装着済み)</p> 

2. 総取付図

●専用水栓蛇口の使い方



●専用水栓蛇口の使い方



注意

- ・パッキンの入れ忘れのないように注意してください。
- ・ナット類はしっかりと締め付けてください。
- ・カブラ付片ナットホースは給水口と吐水口を間違わないように取り付けてください

安全リングを矢印方向に90度回すとロック状態となります。

3. 器具の設置手順

1 専用水栓・浄水器 設置場所の選定

●カウンターの天板の厚さは4~30mmまで取付可能です。



●専用水栓、浄水器本体、アングル分岐栓の各々が、ホームチューブ(600mm)カプラー付片ナットホース(800mm)で接続できる場所を選定してください。

●各部材は、既設の配管にぶつからないように設置してください。

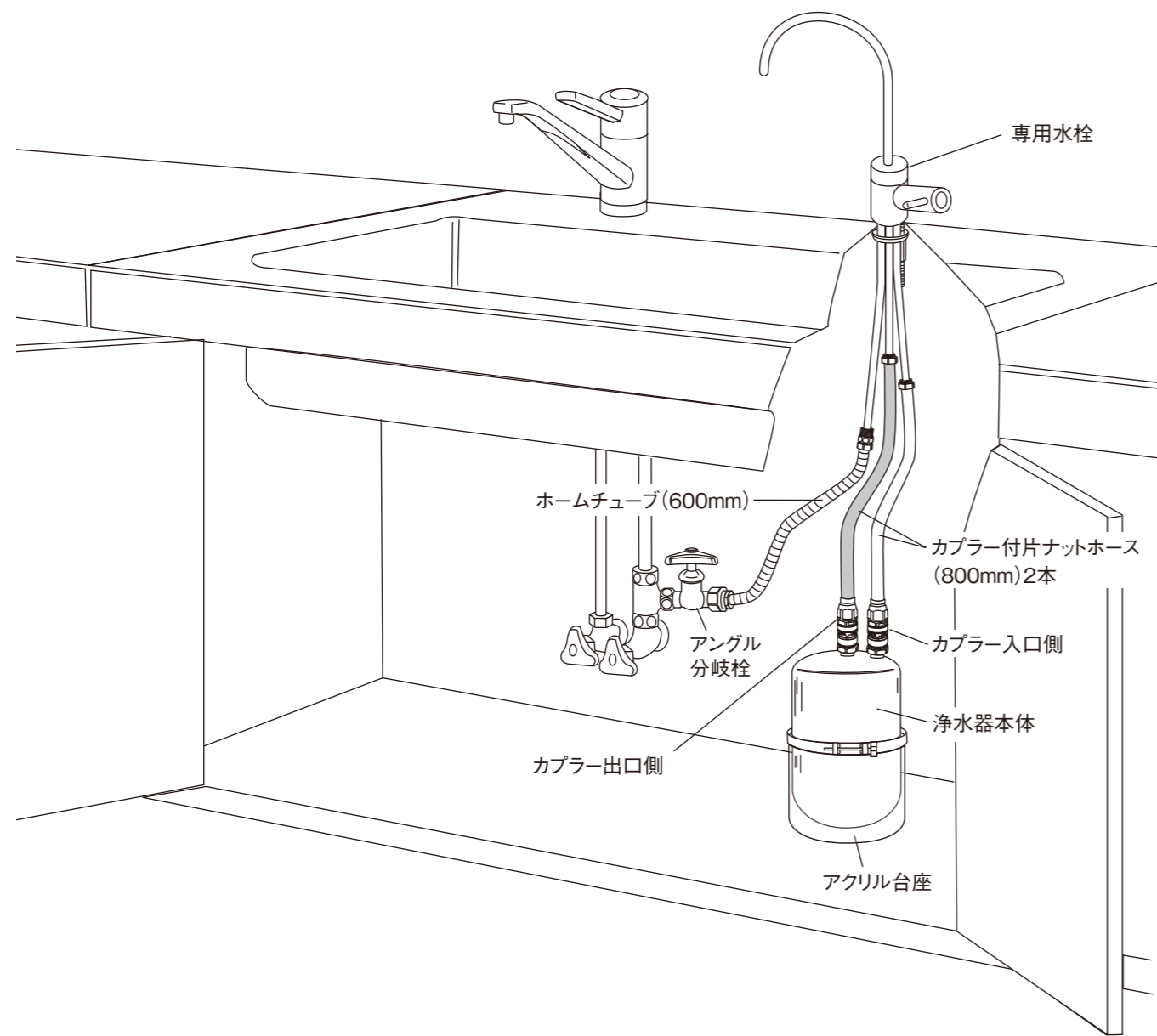
●浄水器本体は平らな場所に設置してください。

●浄水器本体は、フィルターカートリッジ交換が容易な場所に設置してください。
(手前に引き出せる場所)

●取付に必要な工具等

- ・ホールソー(ドリル)
- ・スパナ(12mm)×1本 (専用水栓締め付けナットに使用)
- ・スパナ(26mm)×1本
- ・スパナ(23mm)×1本
- ・スパナ(19mm)×2本
- ・その他必要に応じてモンキーレンチ
- ・モーターレンチなど

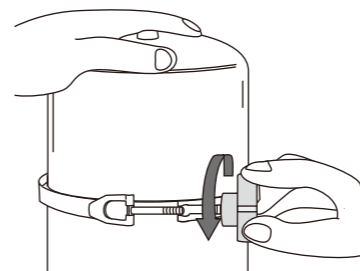
●設置例



2 本体へのフィルターカートリッジの装着方法 (MP750SBのみ)

① 本体の固定バンドをゆるめる。

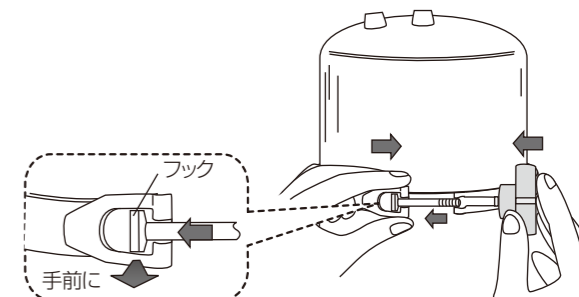
本体の固定バンドのハンドルを反時計回り(左回り)に回し、ネジを十分にゆるめます。



- 固定バンドのハンドルは、ネジから完全にはずさないで、作業をしてください。
- 固定バンドを無理に広げないでください。

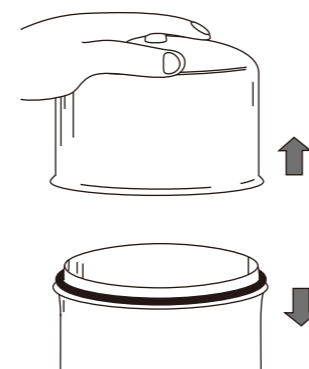
② 固定バンドをはずす。

ゆるんだ固定バンドを、下図のように手でおさえ、フックを手前に出すと固定バンドは外れます。



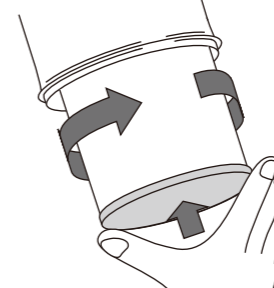
- 固定バンドのハンドルが固い場合には、怪我をする恐れがありますので、軍手やタオル等で手を保護してください。

③ 本体を上下に分割する。



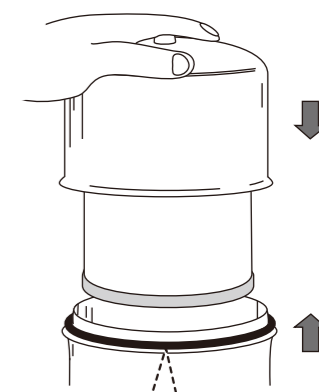
④ フィルターカートリッジを取り付ける。

フィルターカートリッジの包装をすべてはがして、本体上部内側にあるネジ部にフィルターカートリッジを時計回り(右回り)にゆっくりとねじ込みます。固くなった所からさらに1/4回転程度回します。



- フィルターカートリッジはまっすぐ締め込んでください。

⑤ 元通りに本体を合わせる。

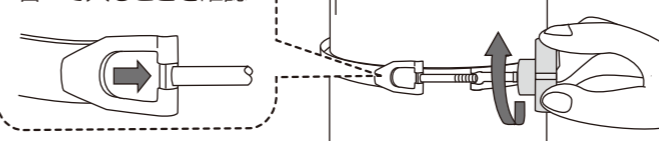


Oリング(パッキン)を確認!

⑥ 固定バンドを締め付ける。

固定バンドを本体に巻き付け、ハンドルを時計回り(右回り)に回し、十分に締め付けてください。

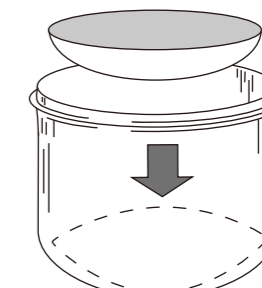
T字型の金具が噛み合っていることを確認!



- 本体に巻き付ける際に、固定バンドを無理に広げないでください。

活性化セラミックを本体下部に置く。(BJの場合)

置く向きに注意してください。

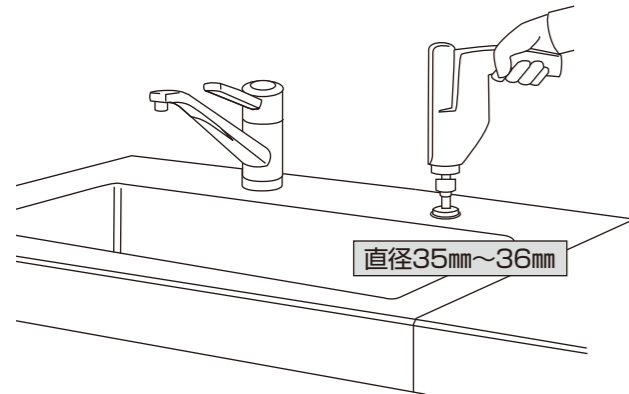


ふくらみを下に

3 専用水栓の取付手順

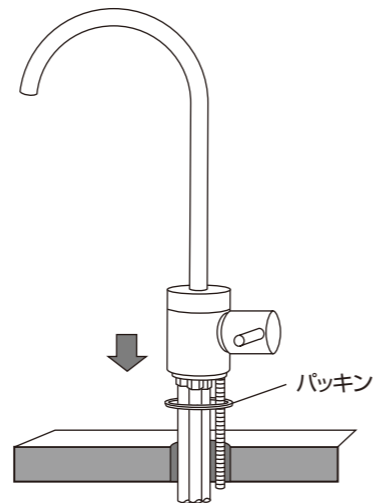
① 天板に専用水栓用の穴を開ける。

- ・混合水栓の使用の邪魔にならないよう、ホールソーで穴を開けてください。
- ・穴径:直径35mm~36mm



●天然大理石、ホーローのシンクの場合、穴あけができません。シンクメーカーにご相談ください。

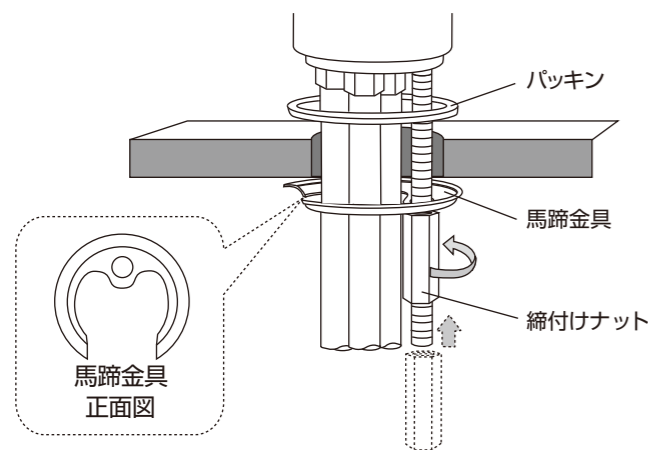
② 専用水栓を開けた穴に挿入する。



●パッキンを必ず確認してください。

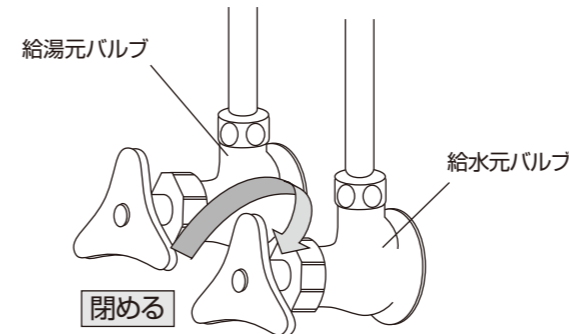
③ 挿入した専用水栓を固定する。

- ・馬蹄金具を取付け、締付けナットをスパナなどでしっかりと固定してください。



4 配管の接続手順

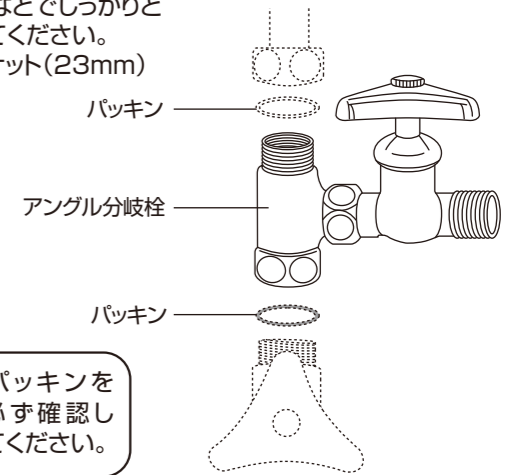
① 給水元バルブを閉める。



●元バルブは必ず閉めておいてください。

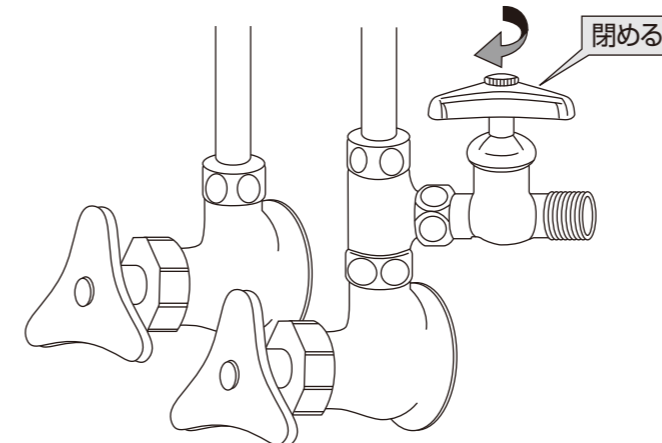
② 給水管にアングル分岐栓を取付ける。

- ・スパナなどでしっかりと締めてください。
- ※袋ナット(23mm)



●パッキンを必ず確認してください。

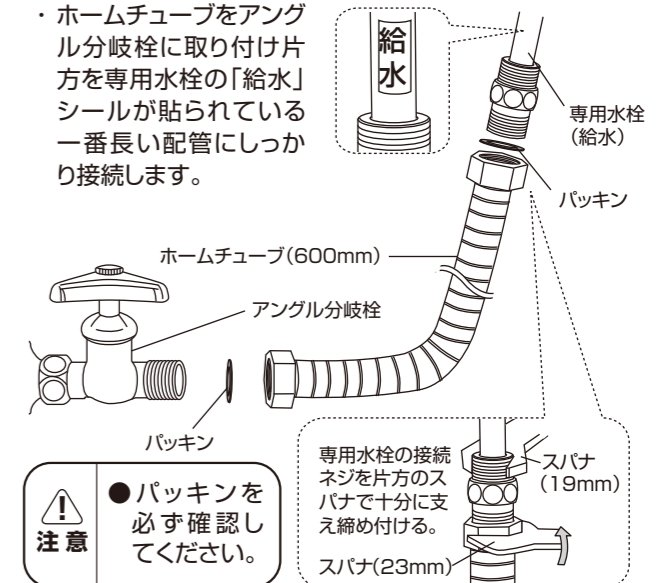
③ 取付けたアングル分岐栓のバルブを閉める。



●アングル分岐栓は必ず閉めておいてください。

④ ホームチューブ(600mm)を取り付ける。

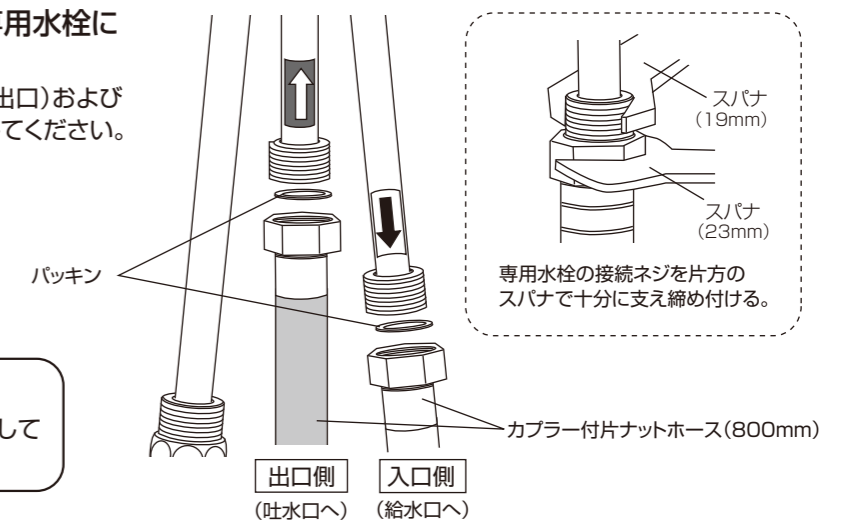
- ・ホームチューブをアングル分岐栓に取り付け片方を専用水栓の「給水」シールが貼られている一番長い配管にしっかりと接続します。



●パッキンを必ず確認してください。

⑤ カブラ付片ナットホース(800mm)を専用水栓に取り付ける。

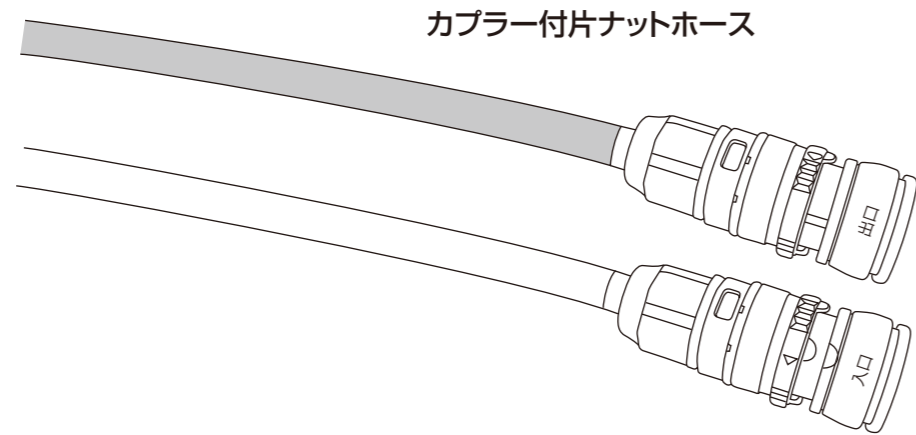
- ・カブラ付片ナットホースを専用水栓配管の「↑」(出口)および「↓」(入口)にそれぞれスパナ等でしっかりと接続してください。



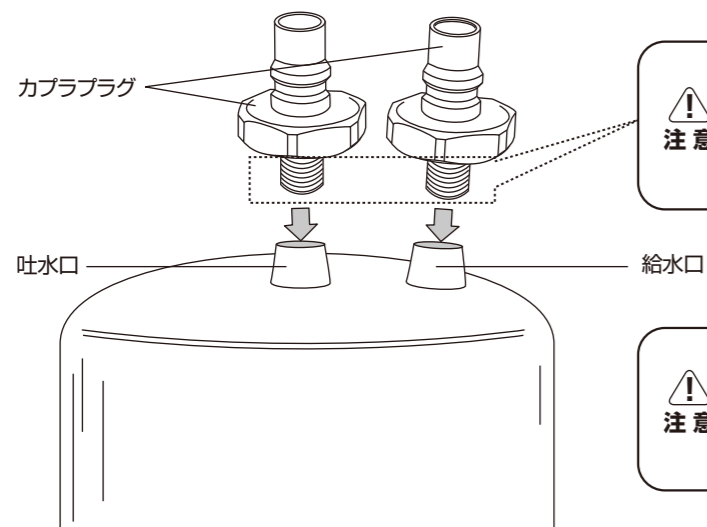
●パッキンを必ず確認してください。
●グレーのホースは必ず出口側で使用してください。

5 浄水器の接続

① カプラー付片ナットホースを用意しておく。



② 浄水器上部にカブラプラグをスパナ等でしっかり締め込み、取り付ける。



注意

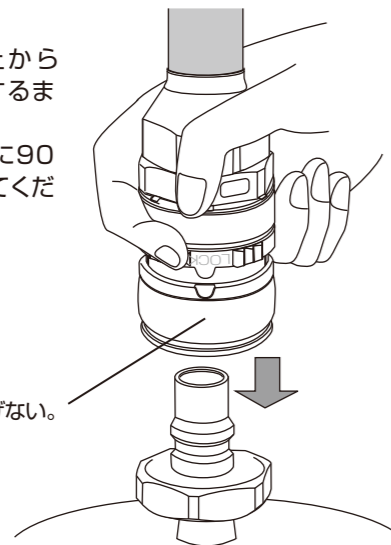
- シールテープがネジ部に巻いてあることを確認!
- 巻いてない場合はシールテープを必ず巻いてください。

注意

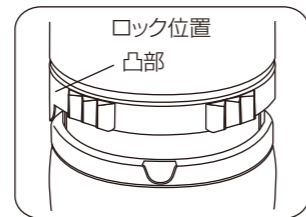
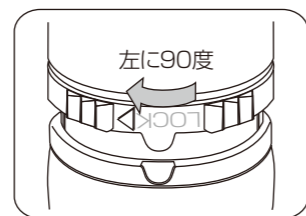
- プラグ部はスパナ(23mm)でしっかりと固く締め込んでください。
※ 締め込みがあまりいと、水漏れの原因となります。

③ 本体とブレードフレキ管をカブラで接続する。(給水・吐水)

- ・ ソケット部を真上から「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ・ ロックリングを左に90度まわしロックしてください。



スライダーは引き上げない。



注意

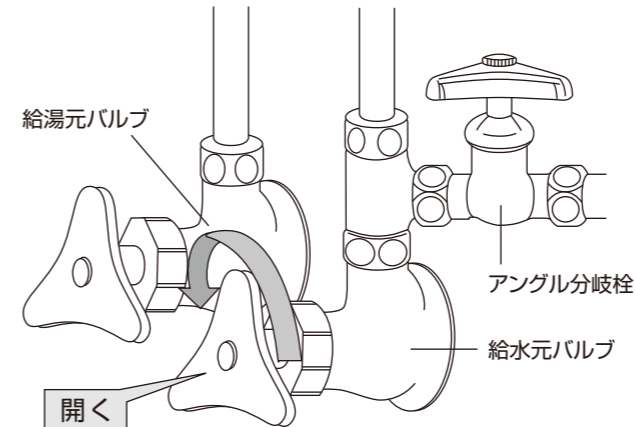
- 接続の際、スライダーを引き上げた状態で差し込まないでください。接続不良の原因となります。

注意

- 安全リングを左に90度カチッと音がするまで回しロックします。

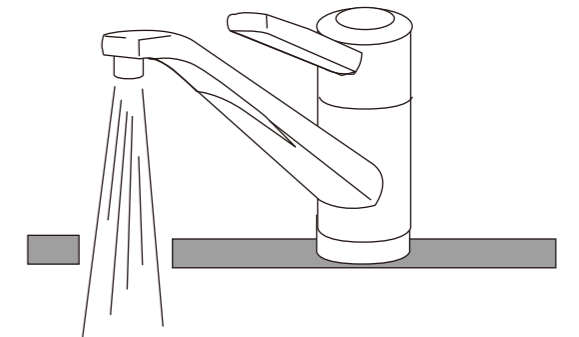
4. 最終点検(水漏れのチェック)

① 給水元バルブを開き水道水栓を開く。

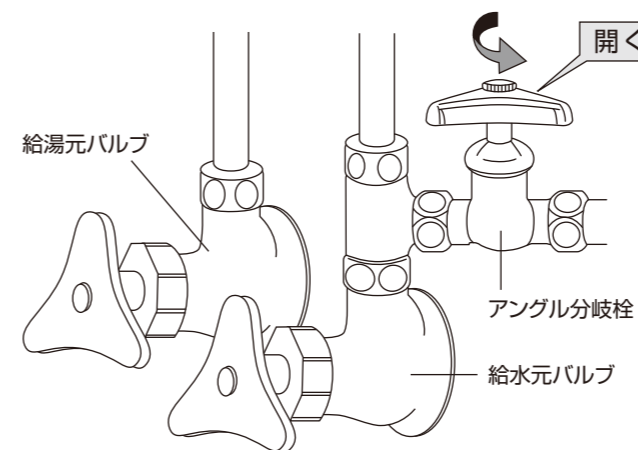


実行

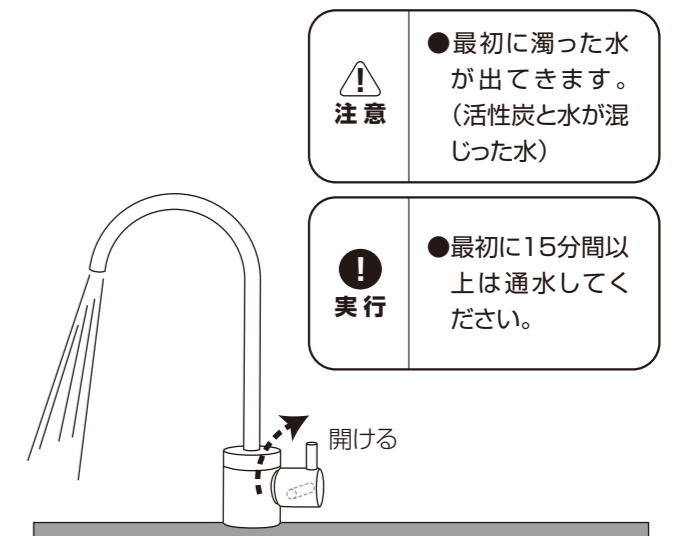
- 既設の混合水栓から水を十分流してください。(配管内のゴミを洗い流すため)



② 浄水器側のアングル分岐栓のバルブを開く。



③ 専用水栓のレバーを上引き通水する。



注意

- 最初に濁った水が出てきます。(活性炭と水が混じった水)

実行

- 最初に15分以上は通水してください。

④ 配管各部の水漏れがないかを確認する。

実行

- 15分以上通水し、必ず水漏れがないことを確認してください。
- レバーの開閉をくり返し行い、各部の水漏れがないことを確認してください。

・ 最初の数分間は、水が出にくい場合や止水した後もしばらく水滴が落ちる場合がありますが、しばらく通水してください。

⑤ 流量の調整をする。

・ 指定流量を確認の上、アングル分岐栓で調整してください。

